

第37回相模原市民合同演奏会を開催します

1982(昭和57)年12月に初めて開催された「第九演奏会」から37年連続で開催している「合同演奏会」は、相模原市の年末の恒例行事となっています。平成最後を飾る本演奏会で、今回、演奏するのは「第九」。合同演奏会では通算21回目の演奏となります。市民公募の合唱団と市民交響楽団総勢200名を超えるメンバーが、高らかに「フロイデ」を奏でます。

1 第37回市民合同演奏会 開催概要

- 1 日時 平成30年12月16日(日) 午後1時15分開場 午後2時開演
- 2 会場 相模原市文化会館(相模女子大学グリーンホール) 大ホール
- 3 曲目 ベートーヴェン/交響曲第9番「合唱付」
フンパーディンク/歌劇「ヘンゼルとグレーテル」より
「前奏曲」、「魔女の騎行」、「パントマイム」
- 4 指揮 田代 俊文
- 5 ソリスト ソプラノ 山下 尚子 アルト 田村 由貴絵
テノール 青柳 素晴 バリトン 福島 明也
- 6 合唱指揮 藤原 規生
- 7 管弦楽 相模原市民交響楽団
- 8 合唱 相模原市民合同演奏会合唱団
- 9 入場料 指定席 2,500円 自由席 2,000円 学生席 500円 (当日券のみ)
*当日券は正午より販売開始



これまでに演奏した合唱曲

ベートーヴェン 交響曲第9番「合唱付」20回、ヘンデル「メサイア」4回、
モーツァルト レクイエム 4回、戴冠式ミサ 2回、
ブッチーニ グローリア・ミサ 3回、ブラームス ドイツレクイエム 1回
ヴェルディ レクイエム 1回、ロッシーニ スターバト・マーテル 1回

【問合せ先】

文化振興課

直通電話 042(769)8202

市民合同演奏会とは

市民合同演奏会は、市民の手で「第九」を演奏しようと、市内の合唱団体を中心に「市民合同演奏合唱団」が結成された一方、市の社会教育団体の一つとして相模原市民交響楽団が結成されたのを機に、合同演奏会実行委員会を発足し、1982（昭和57）年12月に第一回演奏会（第九演奏会）を行いました。

第一回以降、ほぼ毎年12月に、一般公募の市民参加型合唱団と合同演奏会の開催のために市内初となるアマチュアオーケストラとして結成された相模原市民交響楽団が力を合わせて、「第九」や「メサイア」を始めとする合唱曲を演奏する相模原市の年末恒例行事となっています。

構成団体について

団体名	相模原市民合同演奏会合唱団	相模原市民交響楽団
概要	<p>基本的には、毎年、合唱団に参加する市民等を公募している。合同演奏会実行委員は、合唱連盟役員を主体としている。</p> <p>合唱団は、市合唱連盟を通じて、加盟団体から参加、広報「さがみはら」や市民文化財団情報紙「Move」に掲載の団員募集記事を見て応募したメンバーなどで構成されている。</p> <p>今回の参加人数 約150名</p>	<p>第九演奏会をきっかけに発足した相模原市初のアマチュアオーケストラで、第一回第九演奏会以降、全ての合同演奏会で管弦楽を担当。</p> <p>市内在住、在勤者を中心に活動しており、合同演奏会の他、年1回の定期演奏会、プロムナードコンサートを開催。また、市の社会教育団体の一つとして、市の行事や学校からの依頼演奏も行っている。団員数 約70名</p>

これまでの演奏実績（第1回及び第32回演奏会以降）

回数 開催日	指揮 合唱指揮	独 唱	主な演奏曲目
第1回 S57.12.25	小松 和彦 玉木 博	中山早智恵(S)、安居史恵子(A) 白石 邦憲(T)、久岡 昇(B)	交響曲第9番「合唱付」(ベートーヴェン)
第32回 H25.12.15	田代 俊文 藤原 規生	横山恵子(S)、清水華澄(A) 笛田博昭(T)、伊藤 純(B)	「レクイエム」(ヴェルディ)
第33回 H26.12.14	田代 俊文 藤原 規生	吉田和夏(S)、菅有実子(A) 藤牧正充(T)、水野賢司(B)	「メサイア」(ヘンデル)
第34回 H27.12.20	田代 俊文 藤原 規生	西森由美(S)、小島りち子(A) 青柳素晴(T)、成田博之(B)	交響曲第9番「合唱付」(ベートーヴェン)
第35回 H28.12.18	田代 俊文 藤原 規生	佐野成宏(T)、甲斐栄次郎(B)	「グローリア・ミサ」(プッチーニ)
第36回 H29.12.17	田代 俊文 藤原 規生	砂田愛梨(S)、成田伊美(MS)、 相山潤平(T)、高橋正尚(Bar)	スターバト・マーテル(ロッシーニ)

